

# 総括



2004年は「異常気象」と言われる事象が「日常」と言えるほど頻繁に起こった年であり、局地的な集中豪雨の多発、これまでの記録を超える雨量、潮位、波高などが各地で観測された。その結果として、国直轄河川においても破堤するなど甚大な被害を受けたことは鮮明に記憶に残っているところである。

また、2004年の災害を丹念に取材してみると、このような自然状況の変化だけではなく、社会環境の変化が防災に関して新たな課題を提示していることに気づく。

例えば、少子高齢化社会の到来により高齢者等の災害時要援護者の被災が目立ったことや、従来型

の地域コミュニティが衰退し共助体制が脆弱になってきていること、そして避難勧告等災害に関する情報提供の遅れがあった一方で、情報提供が行われても住民が実際に避難行動をとらないなど、安全に慣れた国民の災害に対する危機意識が低下していること等が指摘されよう。

国土交通省は、社会資本整備審議会河川分科会豪雨災害対策総合政策委員会からこのような自然状況の変化や社会環境の変化を踏まえた、総合的な豪雨災害対策についての緊急提言を受け、2004年12月に豪雨災害対策緊急アクションプランを策定し、期限や数値目

標等を具体的に定めて、対策に取り組んでいる。

国や地方自治体が、ここに示されているハード、ソフト両面にわたる取り組みを早急に具体化することはもちろん重要であるが、今後とも想定外の災害が発生する可能性のあることを、国民一人ひとりが十分に認識しておくことが必要である。

平常時においても常に災害に対して関心を持ち、いざという時に安全で、あるいは被害を最小限にすることのできる自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の再構築が、今求められているのである。

## ■取材協力先一覧（五十音順）

愛知県建設部

巖島神社

愛媛県土木部

愛媛県新居浜市立川自治会

香川県土木部

近畿地方整備局河川部

四国地方整備局

町立中之島保育所

新潟県土木部

新潟県山古志村

兵庫県土木整備部

兵庫県豊岡市

福井県土木部

北陸地方整備局

三重県土木整備部

三重県宮川村

## 災害列島 2005

2004年の災害を振り返る

●発行日

平成17年3月

●発行所

国土交通省河川局  
防災課災害対策室  
東京都千代田区霞が関2-1-3

〒100-8918  
TEL.03-5253-8111（代表）

●企画・編集

財団法人河川情報センター